

東京都市大学 柏門技術士会

第 2 1 期通常総会

2 0 2 4 年度

(2024 年 4 月～2025 年 3 月)

議 案 書



2 0 2 4 年 6 月 8 日 (土)

東京都市大学 柏門技術士会

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 都市工学科事務室

TEL:03-5707-0104 (内 3200)

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>

次 第

I 第 21 期通常総会		司会 総務委員長
1. 会長 挨拶		佐藤会長
2. 議事		
第 1 号議案 第 20 期 活動報告		佐藤会長
第 2 号議案 第 20 期 決算報告		安藤事務局長
1) 第 20 期 収支決算報告		
2) 第 20 期 監査報告		
第 3 号議案 会長・理事・監事の選出		総務委員長
第 4 号議案 第 21 期 活動計画		各委員長
第 5 号議案 第 21 期 予算案		安藤事務局長
3. 報告事項		
1 2024 年度顧問委嘱		総務委員長
2 体制表		〃
3 会員の動向		〃
閉会挨拶		安部副会長

第1号議案 理事会活動報告および各委員会活動報告

1. 理事会（運営委員会）開催日時

第44回理事会（209回）	2023年 4月 8日（土）	①
第45回理事会（210回）	2023年 5月20日（土）	①
第46回理事会（211回）	2023年 6月10日（土）	②+①
第47回理事会（212回）	2023年 7月 8日（土）	①
第48回理事会（213回）	2023年 9月 9日（土）	①
第49回理事会（214回）	2023年10月 7日（土）	③+①
第50回理事会（215回）	2023年11月11日（土）	①
第51回理事会（216回）	2023年12月 8日（土）	④
第52回理事会（217回）	2024年 1月10日（土）	④
第53回理事会（218回）	2024年 2月10日（土）	①
第54回理事会（219回）	2024年 3月 9日（土）	①

2. 場 所

- ①Web 会議
- ②東京都市大学 世田谷キャンパス 22C
- ③東京都市大学 4号館2階 建築都市学群多用室
- ④交友会館自由が丘クラブ

3. 全体議事

3. 1 20年式典および基調講演に関して

- 1) 20周年記念式典令和6年6月10日の企画・運営
- 2) 20年史の編纂（20年史編集委員会）・発送・20周年記念式典での配布
- 3) 20周年記念式典CPD講演会の計画・実施

3. 2 第20期定期総会に関して

- 1) 総会における議案説明次第の決定
- 2) 19年度活動報告および20年度計画に関する各委員会からの資料の検討
- 3) 第20期総会次第の審議

3. 3 総会議案書作成について

- 1) 総務委員会より、第20期総会の全体プログラム、議案書の表紙および次第、顧問名簿の変更
- 2) 顧問名簿については、東京都市大学学生支援部菊地課長に確認をいただき修正
- 3) 議案書の活動報告は主要な議事をまとめた内容にした。

3. 4 新入会員へ委員会活動参加の勧め

- 1) 委員会活動参加の勧め案内を作成し3年以内に入会した方にすすめる。
- 2) 若い会員の方に委員会に参加していただくよう、メール、会報誌による参加依頼。

3. 5 その他全体情報

- 1) 校友会に、「在校生への支援」として技術士第一次試験合格者へ受験料を助成することを確認令和5年度合格者22名が発表され、校友会より支給された助成金を申請のあった合格者に支給した。

- 2) 令和5年度合格者の合格祝賀会を令和6年5月15日に実施することとした。
- 3) 行事や会議等の開催はコロナ禍以降 web 開催やハイブリッド開催とした。

4. 委員会活動報告

4. 1 総務委員会

- 1) 20 期定期総会および 20 周年記念式典に向けての準備・工程案作成
- 2) 20 期定期総会および 20 周年記念式典の運営と整理
- 3) 顧問の継続委嘱についてのお知らせおよび新任顧問への委嘱依頼、顧問への委嘱状発行
- 4) 会報誌発送ラベルの作成と印刷
- 5) 会員名簿の管理・更新

4. 2 広報委員会

- 1) HP の更新維持
 - ・ 柏門HP の継続運営
 - ・ 新規情報を継続的に掲載
- 2) メーリングリスト配信により会員へ総会案内、新情報を提供
- 3) 会報誌の編集及び出版を実施
- 4) 20 年史編集委員会を運営し、20 周年誌をまとめた

4. 3 教育委員会

- 1) 技術者倫理の講義担当
 - ・ 都市工学科の必修科目として実施し、5 月で終了した。
 - ・ 都市工学科倫理講義の採点および取り纏めを、街道委員を中心に実施
- 2) 次年度の都市工学科技術者倫理授業の準備を進めた。
- 3) 講義はアクティブラーニングとしており、講義の後半はグループごとにテーマに沿った議論をした後に発表してもらっている。授業形式は対面型を実施した。

4. 4 企画渉外委員会

- 1) 6 月定期総会後に C P D 基調講演を開催
- 2) 2023 年横浜祭(9 月)、世田谷祭(11 月)にて柏門技術士会ブース出典し技術制度の PR
- 3) 令和5年度技術士第一次試験合格祝賀会を令和6年5月15日に実施することとした。
- 4) 20 周年記念式典基調講演を 6 月 10 日に実施した。

4. 5 試験支援委員会

- 1) 技術士試験大学別合格者数の調査
 - ・ 第一次及び第二次試験の在学生合格者情報を大技連経由で試験センターから入手
 - ・ 都市大は、令和5年度の第一次試験は、在学生 22 名全国大学(高専含む) 15 位(私大 6 位)、卒業生 47 名全国大学 23 位(私大 8 位)。第二次試験は、16 名全国大学 50 位(私大 13 位)
 - ・ 都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手
- 2) 横浜キャンパスで特別講義(技術士補コース)を実施(全 14 回)
- 3) 都市工学科キャリア開発講義にて技術士制度及び柏門技術士会、第一次試験の説明を対面にて実施(2023年6月)

4. 6 事務局

- 1) 年会費納入者数の推移、運営委員会開催スケジュール他
- 2) 柏門技術士会会計管理
 - ・ 柏門技術士会の月次会計管理
 - ・ 年次予算計画及び年次収支報告の作成

3)都市大メールアドレスを取得

- ・各委員会の主要委員の都市大メールアドレス管理

4)都市大サーバーの利用申請

- ・都市大サーバーの柏門会員メーリングリスト利用
- ・都市大サーバーのストレージ利用

5)都市大サーバーの利用申請

6)WE B会議開催（ZOOMアカウント管理）

7)都市大ロゴ入り柏門技術士会名刺の調整

4. 7 その他

- 1) 都市大卒業生(武蔵工大含む)の技術士取得者を日本技術士会の協力を得て入手、新規会員増の対応を進める

第2号議案 第20期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会 第20期 収支決算報告書

2023(令和5)年4月1日～2024(令和6)年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第20期 予算	実績	実績－予算	備 考
会費収入	425,000	489,000	64,000	・フェロ-会員設定(1～5千円):予算95人確保×4,500円 ⇒実績:112名×平均4,366円)による増
行学会費	140,000	201,000	61,000	・20期は、創立20周年記念総会として実施:増
協賛広告費	640,000	640,000	0	・20年史:会社)7社@5万+6社@2.5万円。個人)8名×5千円:54万円 ・会報誌20号:会社)2社@5万円(㈱TERADA様、㈱トップライズ様)
雑収入	495,000	232,000	△ 263,000	・校友会:第一次試験助成金は、45名予定に対し、R5年度申請者20名:減
20年史準備金	259,096	259,096	0	・19期において20年史準備金:総額40万円を計上。19期には座談会文字お越費(140904円前借支出した残金を計上。
収入合計	1,959,096	1,821,096	△ 138,000	
前期繰越金	1,426,243	1,426,243	0	
収入総合計	3,385,339	① 3,247,339	△ 138,000	

2. 支出の部

科目	第20期 予算	実績	実績－予算	備 考(増減理由等)
事務用品費	33,000	41,705	8,705	・記念総会バラ徽章・名札フォルダ:増 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
印刷・通信費	95,000	66,528	△ 28,472	・想定した会報誌送料値上げが次年度に変更:減 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。減
行学会費	250,000	243,360	△ 6,640	・20周年記念総会・世田谷祭・横浜祭のリアル開催による支出
会報誌、広報	335,850	700,248	364,398	・総会特別講演テープ起こし+IP権管理費(サーバーレンタル料値上げ ・コンテンツ改訂に伴う外注化)増。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
委員会費	80,110	158,080	77,970	・理事会・委員会・世田谷祭・横浜祭リアル開催に伴う交通費精算(未精算2022年度+2023年度)増
渉外費他	614,200	281,670	△ 332,530	・技術士第一次試験助成金(45名予定⇒R5年度試験合格助成申請20名×11,000円/名)減、見学会中止減
源泉徴収税	7,000	6,822	△ 178	・前期同等実績(特別講演1名+寄稿2名を想定)。 *20年史関連費用は20年史準備金の科目で処理。
20年史準備金	735,600	622,235	△ 113,365	・①事務用品費:減、②印刷費、③送付費用:値上げ無し減、④寄稿謝金'寄付にて減、⑤源泉徴収税'減
支出合計	2,150,760	② 2,120,648	△ 30,112	
次期繰越金	1,234,579	③ 1,126,691	△ 107,888	
支出総合計	3,385,339	3,247,339	△ 138,000	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部－②支出の部	① 3,247,339	② 2,120,648	③ 1,126,691	2023(令和5)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-------------	-------------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。

令和 6(2024)年 5 月 13 日

監 事

中 澤

真



監 事

服 部

尚 道



第20期 当期支出内訳

科目	第20期予算		第20期支出		備 考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績 実績-予算	
事務用品費		33,000		41,705 8,705	
①会報誌・総会	封筒		5,000		
②事務局	封筒、事務用品他		5,000	0	△ 5,000
③技術士試験支援	受験参考書		20,000	5,390	△ 14,610
印刷・通信費		95,000		66,528 △ 28,472	
①第20期総会	資料印刷費(70部)		15,000	0	△ 15,000
②第20期総会	案内往復葉書等(100枚)		5,000	0	△ 5,000
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費		0	0	0
④会報誌20号	送付費用		65,000	56,943	△ 8,057
⑤世田谷祭	資材運搬費		2,000	0	△ 2,000
⑥横浜祭	資材運搬費		2,000	0	△ 2,000
⑦事務局	新規入会者等郵送料・振込手数料		5,000	9,095	4,095
⑧技術士試験支援	資料等印刷費・校友会あて送料		1,000	490	△ 510
行事会費		250,000		243,360 △ 6,640	
①第20期総会	懇親会費用		185,000	142,760	△ 42,240
②世田谷祭	ポスター準備・会場設営他		2,000	0	△ 5,000
③横浜祭	ポスター準備・会場設営他		2,000	0	△ 5,000
会報誌、広報		335,850		700,248 364,398	
①会報誌20号	テーブル起こし費用(講演会)		67,500	187,000	119,500
②HP維持費	HP用サーバーの賃借料		96,100	308,648	212,548
③都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)		10,000	0	△ 10,000
委員会費		80,110		158,080 77,970	
①交通費補助	技術士関連広報活動		40,000	108,418	68,418
②委員会会議	会場費		22,110	22,110	0
③寄付講座	講師交通費(謝金)		18,000	27,552	9,552
渉外費他		614,200		281,670 △ 332,530	
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費		5,000	25,060	20,060
②学生見学会後援	講師(6名)への手土産		8,000	0	△ 8,000
③見学会(7月)	見学先への手土産		3,000	0	△ 3,000
④見学会(11月)	見学先への手土産		3,000	0	△ 3,000
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費		27,000	0	△ 27,000
⑥事務局	協賛先等へのお礼		55,000	28,360	△ 26,640
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)		503,000	220,000	△ 283,000
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)		0	0	0
⑨理事名刺	理事用名刺6名分@100枚		10,200	8,250	△ 1,950
源泉徴収税		7,000		6,822 △ 178	
①源泉徴収税	会報誌寄稿謝金への課税分10.21%		7,000	6,822	△ 178
20年史準備金		735,600		622,235 △ 113,365	
①事務用品費	封筒代、資料等、購入・コピー代		24,000	2,409	△ 21,591
②印刷・通信費	送付費用		160,400	85,730	△ 74,670
③会報誌、広報	会報誌印刷代(モノクロ 1000部)2023/6発刊		467,200	467,280	80
④渉外費他	20年史寄稿謝金		75,000	60,000	△ 15,000
⑤源泉徴収税	20年史寄稿謝金への課税分10.21%		9,000	6,816	△ 2,184
当期支出合計		2,150,760		2,120,648 △ 30,112	
			1,647,760	1,900,648	←助成金予算・支出を除く

第3号議案 人事案

1) 会長の選出

現会長 佐藤貢一氏(S60 土木卒)の退任に伴い、会長候補者(案)は事前に立候補表明をいただいた方を記載しています

会長 候補者	氏名	技術士部門 学科、卒年
	安部 毅	総合、建設、環境 土木 H02

2) 理事の選出

理事	安部 毅 H02土木 (総合、建設、環境) 会長	山浦 武彦 S62土木 (建設) 副会長・広報副委員長	(新任)山本 晃弘 H11土木 (建設) 事務局長	浅野 研一 S52土木 (建設) 総務委員長
	稲沢 達也 S53土木 (総合、建設) 総務副委員長	(新任)服部 尚道 H04/H06修土木 (建設) 広報委員長	松浦 弦三郎S51土木/ H30修都市 (建設) 教育委員長	林 克彦 S54土木 (建設) 教育副委員長
	北村 敏 H01電気電子 (電気電子) 企画渉外委員長	(新任)浦見 成一 H08電気電子 (電気電子) 企画渉外副委員長	佐藤 貢一 S60土木 (総合、建設) 試験支援委員長	(新任)永尾 浩一 H04土木 (建設) 試験支援副委員長

各欄最下段は21期予定役職

(計12名)

3) 監事の選出

監事	中澤 真 S47電気 (情報)	(新任)石川 善信S56/58修土木 (建設)		
----	--------------------	----------------------------	--	--

(計2名)

第4号議案 第21期 活動計画

総務委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会員の動向の把握および会員名簿の管理、顧問委嘱手続き、会則、細則の制定・改訂等の原案作成、総会の開催に関する一切の事項、他委員会の活動支援	
委 員	委 員 長：浅野 研一 副委員長：稲沢 達也 委 員：荒川 興一、安藤 慎一郎、小原 丈二、三浦 聡、八木 公平 矢澤 雄一	
第 21 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	・総務委員会文章事項に関する協議及び 情報交換	数回／年
2. 会則・細則の改定	・会則・細則に関する修正・提案事項の検 討および改定案の作成	必要により検討 実施
3. 第 21 期総会	・議案書の作成 ・会員への連絡 ・総会及び懇親会の運営 ・議決の確認	2024 年 6 月
4. 顧問の委嘱手続き	・大学教員の異動に伴う、顧問の見直しお よび委嘱依頼	2024 年 5 月
5. 会員名簿管理	・新規会員の入会、転居・転職等の会員情 報の変更、退会・逝去等の情報の登録 ・会員数の把握	随時
6. 交流会の実施	・実施の有無、実施時期を再検討する。	未定
7. 他の委員会への活動支援	・大学講義の実施や技術士ガイダンス ・一次試験合格祝賀会 ・大学祭ブース出展 等へ支援	随時
第 22 期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
・ 柏門技術士会が活動し易いように、随時会則及び細則の見直しを行っていく。 ・ 転勤や定年などにより連絡先が不明とならにように、メルマガや総会の案内などを通じて、随時会員の動向を把握する。 ・ 各委員会に若手の委員が参加できるよう、行事等を通じて声掛けをしていく。 ・ 長期的に技術士会員数を増やすために、大学事務局や顧問の先生方との交流会を実施して、大学全体の技術士制度に対する理解を深めていく。 ・ 技術士制度ガイダンスの実施や学祭のブースでの説明、大学講義での技術士制度の説明の充実などを、関係する委員会等と協力して実施していく。		

広報委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会報誌の作成・発行、ホームページの運営管理、会員への広報活動	
委 員	委 員 長：服部尚道 副委員長：山浦武彦 委 員：近藤晴雄、松本辰男、嶋矢剛、中林秀和、山川和弘、石川善信、野中敏幸、中村三昭	
第 21 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 会報誌の作成	・会報誌第 21 号の企画・編集・作成・印刷・発行など ・会報誌 21 号は 6 月の総会記事を中心に掲載し 10 月初旬に発送	2024 年 6 月～
2. ホームページの運営管理	・ホームページの大幅リニューアル ・ホームページの運用 ・運営委員会議事録の掲載 ・CPD 見学会報告などのニュースを掲載 ・大学の発展の経過をアーカイブスで掲載	通年
3. 会員への広報活動	・メールマガジンを活用し CPD 見学会などの情報を会員へ発信 ・ホームページ会員コーナーに過去の会報誌や理事会議事録を掲載	通年
4. 都市大学生への広報活動	・環境情報学部特別講義にて「技術士制度」を紹介 ・世田谷キャンパスと横浜キャンパスにおける「技術士ガイダンス」の開催案内を大学へ依頼	通年
5. 30 周年記念誌の作成に向けて	・20 周年史発行の作業内容などを精査して 30 年史へ向けてデータを引き継ぐ	通年
第 22 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
・20 周年史でまとめた、年表、資料編のデータを継続的に蓄積していく。 ・ホームページ、メールマガジンの運用強化を進めていく。		

教育委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	特別講義（ケーススタディ）、その他の教育と指導に関する企画と運営	
委 員	委 員 長：松浦 弦三郎 副委員長： 林 克彦 委 員：永田 考、街道 浩、油井 理、山本 晃弘 (小原 丈二、山浦 武彦)	
第 21 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	大学より依頼の講義の向上のため、実施後の反省、次回テーマの選定、日程調整などを行う。講義実施時は講師以外の者も出来る限り参加し討議補助をするよう調整する。	会議は年 2 回程度、その他メール等により随時調整
2. 特別講義（ケーススタディ）	今期も都市工学科より依頼の「技術者倫理」（3 年・必修）を緑土会（学科 OB 会）との「共同寄付講座」として、全講義時間の半分（今期は 100 分授業 7 回）行う。今期は対面授業での実施となる。（授業の動画は収録して WebClass にアップする）従来の討議等がスムーズに実施できるように講師以外の者も出来る限り参加し補助をするよう調整する。	2024 年 4～5 月
3. 技術士・技術士補の受験支援	14 期より技術士試験支援実行委員会が本学在学生等に対して本格的な受験支援の活動を始めたことから、状況に応じて補佐的支援を行う。	随時、必要の際調整する
4. その他	現在の具体的活動は大学からの依頼に基づいていることもあり、都市工学科中心となっているが、他学部学科に対しても、必要に応じて、今後積極的に対応していく。	随時、必要の際調整する
第 22 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
大学における人材育成は、社会の要請に基づいた教育をより重視していく方向にある。そのような教育環境を踏まえ、大学での講義は大学から依頼があることが必須であるため、「東京都市大学アクションプラン 2030」（「時代の要請に取り組み」という記述あり）に沿った具体的な講義プランに従って、どのような支援・協力出来るのかを大学側と十分なコミュニケーションを取りながら活動していく。 また、現在実施している講義等については、大学側の希望・時代の要請などを取り込みながら質的向上を計り、継続するべく努める。なお、学生教育については大学に加え、学科 OB 会等が活動をされている場合もあり、関係者との十分な調整の基に活動する。今後は、新たなメンバーに加わってもらい新たな発想のもとで協力し合いながら進めていく。		

企画渉外委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	見学会、講演会、その他行事等の企画・運営並びに日本技術士会との交流と情報交換	
委 員	委員長：北村 敏 副委員長：浦見成一 委 員：石川 善信、尾崎正明、小林政徳、下條信幸、永井佑樹、藤本健	
第 21 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1.委員会の開催、情報交換	会員へのサービスを反映した CPD 行事、交流会の企画検討を行う。 世田谷祭、横浜祭の展示準備及び見学会の企画検討を行う。	適宜
2. 世田谷祭・横浜祭での 本会 PR ブースの開設	横浜祭、世田谷祭にブースにて出展、WEB 開催の場合は動画を作成して参加を行う。 学生・教職員・大学事務局への“技術士制度&技術士“の啓発活動、柏門技術士会活動の PR、技術士第一次試験奨励活動を具体的にすすめる。	2024 年 横浜祭 9 月 世田谷祭 11 月
3. 見学会、講演会の開催	CPD 活動の一環及び会員への交流として見学会・講演会のWEB での開催を検討する。	2024 年
4. 技術士第一次試験合格者 お祝いの会	一次試験合格者の在校生との交流を深めるとともに、将来の第二次試験に向けての情報を提供する。	2025 年 2 月頃
5.		
第 22 期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
会員相互の交流のために、多くの会員が参加できる CPD 見学会、講演会等を企画していく。 学生に技術士受験の推進のための広報活動を積極的に行う。 コロナ禍では見学会や学園祭、講演会は WEB での開催でしたので、今後は以前のように対面で実施を企画する。		

試験支援委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	技術士制度のガイダンス及び特別講義の実施、その他の技術士資格取得に関する企画と運営	
委 員	委員長： 佐藤 貢一 副委員長： 永尾 浩一 委員：近藤 晴雄、進藤 敏則、永田 嘉和、仲田貞夫	
第 21 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 横浜キャンパス 特別講義 (技術士補コース)	・横浜キャンパス全学部共通、2 年生を対象に前期後半 2Q 全 14 回の講義を実施する。 ・対面主体のハイブリッド授業につき、横田教授、講師間連携の下、準備を進める。	2024 年 6 月～7 月
2. 受験ガイダンスの実施	・受験申込の時期に合わせ、学生ポータル等での受験奨励の働きかけを行う。 ・大学と連携の上、全学部・全学年を対象とした受験ガイダンスの企画を進める。	2024 年 6 月 適宜
3. 模擬試験の実施	・大学事務局と連携の上対面形式で実施し、在学生の受験者増と合格率増を図る。 ・採点と激励コメントにより、モチベーション向上を図り、合格率増を目指す。	2024 年 10 月
4. その他、試験奨励活動の実施	・都市工学科 3 年生のキャリア開発の講義等で、技術士試験の説明を実施する。 ・校友会、大学と連携の上、第一次試験合格者への受験料助成制度を実施する。	2024 年 6 月 年度末
5. 学内広報活動 (広報委員会と連携)	・受験支援制度、受験ガイダンス、模擬試験等について、学生ポータル等で広報する。 ・学生の合格実績について、柏門 HP で PR するとともに大学の広報とも連携を図る。	適宜
第 22 期以降の活動予定（中期的な活動方針）		
*JABBE 認定されている学生（現在、都市工学科、機械工学科、原子力安全工学科、機械システム工学科、情報科学科）を含め、在学中の第一次試験の受験、及び資格取得拡大に向けた検討を行う。（目標：在学生 100 名合格） *受験ガイダンス、模擬試験の実施その他の取組を行い、受験者増と合格率向上を図る。横浜キャンパス、都市工学科で定着した取組について、全学部への拡大を図る。 *技術士試験の出題傾向や問題の分析を行い、特別講義やガイダンス等に反映させるとともに、必要に応じ大技連での情報交換、日本技術士会への情報提供を行い、質の向上、制度の充実を図る。 *第一次試験の対策にとどまらず、第一次試験を通過した若手の会員等を対象とした第二次試験取得のための支援活動について、柏門 HP の更新や相談の充実などに取り組む。		

※ 「活動の目的・実施内容等」「第 22 期以降の活動予定」欄は箇条書きでなく、文章で記載ください。また、欄内に収まる文字数でお願いします。

第5号議案 第21期 収支予算

東京都市大学 柏門技術士会 第21期 収支予算案

(令和6(2024)年4月1日～令和7(2025)年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第20期 実績	第21期 予算	増減(20期-19期)	備 考
会費収入	489,000	529,760	40,760	・年会費:123人×(平均4,300円) ※20期:112名⇒21期:1割UPを活動目標とする
行学会費	201,000	140,000	△ 61,000	・総会開催想定(会費:35人×4千円/人)
協賛広告費	640,000	225,000	△ 415,000	・3社×50千円+15名×5千円を活動目標とする
雑収入	232,000	330,000	98,000	・校友会第一次試験助成金30名330千円(20期分20名申請実績)+受取利息
20年史準備金	259,096	0	△ 259,096	・20期で20年周辺関連事業を終了
当期収入合計	1,821,096	1,224,760	△ 596,336	
繰越金	1,426,243	1,126,691	△ 299,552	
収入総合計	3,247,339	① 2,351,451	△ 895,888	

2. 支出の部

科目	第20期 実績	第21期 予算	増減(20期-19期)	備 考(増減理由)
事務用品費	41,705	23,000	△ 18,705	・19期(通常期)実績同様設定
印刷・通信費	66,528	115,000	48,472	・送料:価格上昇想定による増 ・案内往復はがき費を追加設定
行学会費	243,360	170,000	△ 73,360	・19期(通常期)実績と同等想定(会費:35人×3千円/人)による減
会報誌、広報	700,248	467,500	△ 232,748	・前期20期からHP年間維持管理費移行による減
委員会費	158,080	82,110	△ 75,970	・前期20期の理事交通費計上(2年分)を1年分として計上による減
渉外費他	281,670	394,150	112,480	・第一次試験合格助成金(20名申請実績に対する30名想定)増。大学顧問交流会前期同様非実施で減
源泉徴収税	6,822	7,000	178	・前期同等実績(特別講演1名+寄稿2名を想定)。
20年史準備金	622,235	0	△ 622,235	・20期で20年周辺関連事業を終了
当期支出合計	2,120,648	② 1,258,760	△ 861,888	
繰越金	1,126,691	③ 1,092,691	△ 34,000	
支出総合計	3,247,339	2,351,451	△ 895,888	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 2,351,451	② 1,258,760	③ 1,092,691	令和7(2025)年3月31日時点残高予想
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------------------

第21期 当期支出予算内訳(案)

科目	第21期 予算		備 考
	内訳項目	内訳品名 予算内訳	
			*(但し以下に記載の数字は前期予算との差異)
事務用品費		23,000	前期予算33,000から10,000減
①会報誌・総会	封筒	5,000	・例年予算同様
〃	発送用あて先ラベル、インク等	3,000	・ 〃
②事務局	封筒、事務用品他	5,000	・ 〃
③技術士試験支援	受験参考書	10,000	・前期実績同様、新書購入等を踏まえて予算確保
印刷・通信費		115,000	前期予算95,000から20,000増
①第21期総会	資料印刷費(70部)	15,000	・前期同様、外注費用を確保(ハイブリッド会議)。
②第21期総会	案内往復葉書等(100枚)	15,000	・今期総会実施見込+ハイブリッド開催にてメール送信不可として5,000円増
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費	0	・前期同様、作成しない。
④会報誌21号	送付費用	70,000	・前期予算65,000から増(宅配便値上げ想定(167⇒190円/冊)5000円増
⑤世田谷祭	資料運搬費	2,000	・前期予算同様
⑥横浜祭	資料運搬費	2,000	・ 〃
⑦事務局	新規入会者等郵送代	10,000	・ 〃
⑧技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	・ 〃
行事会費		170,000	前期予算250,000から80,000減
①第21期総会	懇親会費用	105,000	・通常開催を見込んだ予算減(総会35名参加見込⇒35名@3,000円)(参考:202005見積60名@3,222)
〃	講演会費	50,000	・前期予算同様、講演者謝金
〃	会場設営・設備費	5,000	・通常期予算同様
②世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	・前期予算同様
〃	世田谷祭実行委員会対応	3,000	・ 〃
③横浜祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	・ 〃
〃	横浜祭実行委員会対応	3,000	・ 〃
会報誌、広報		467,500	前期予算335,850から131,650増
①会報誌21号	テープ起こし費用	67,500	・前期予算同様(前期記念総会実績187,000から119,500減)
〃	会報誌印刷代(モノクロ 550部)	210,000	・前期実績204,600同様(送付用封筒含まず)
②HP維持費	HP用サーバーの賃借料	180,000	・前期実績308,648から128,648減(サーバーレンタル料27,588+メールアドレス2,488+HP年間維持費150,000)
③都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	・前期予算同様、新聞会活動再開で広告費を計上
委員会費		82,110	前期予算80,110から2,000増
①交通費補助	技術士関連広報活動	50,000	・前期実績108,418から58,418減(前期は2期分計上にて、今期は1年分を想定)
②委員会会議	会場費	22,110	・前期実績同様(WEB会議継続:ZOOM年間費用)
③寄付講座	講師交通費	10,000	・前期実績27,552から17,552減(前期は2期分計上にて、今期は1年分を想定)
渉外費他		394,150	前期予算614,200から220,050減
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	5,000	・前期同様(日本技術士会:総会会誌への広告分担金)
②学生見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	・前期予算同様、対応について検討
③見学会(7月)	見学先への手土産	3,000	・ 〃
④見学会(11月)	見学先への手土産	3,000	・ 〃
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費	0	・前期同様、非開催を想定
⑥事務局	協賛先等へのお礼	30,000	・前期実績28,600同様
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)	334,950	・前期実績20名申請を踏まえ、30名×11,000を想定(振込手数料は柏門より165×30=4,950)
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)	0	・前期同様、企画渉外委員会独自会計とする。会計では予算計上しない。
⑨理事名刺	理事用名刺6名分@100枚	10,200	・前期同様、理事半数分(6名分)を見込む(6×1,700円)
源泉徴収税		7,000	前期予算同様
①源泉徴収税	特別講演・寄稿	7,000	前期同様、(特別講演・寄稿等50,000*1+5,000*2)*10.21% 5,685×1+568×2=6,821
当期支出合計		1,258,760	923,810 ←助成金を含まない予算金額

報告事項 1 2024年度顧問委嘱一覧表

NO	名 称	現 職	氏 名	NO	名 称	現 職	氏 名
1	最高顧問	学長	野城 智也	18	顧 問	理工学部 機械工学科 主任教授	三原 雄司
2	最高顧問	学校法人 五島育英会 理事長	渡邊 功	19	顧 問	理工学部 機械システム工学科 主任教授	秋田 貢一
3	顧 問	NPO法人建設技術監査センター 理事 相談役	五艘 章	20	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科 主任教授	野平 博司
4	顧 問	副学長（教育担当）	田口 亮	21	顧 問	理工学部 医用工学科 主任教授	和多田 雅哉
5	顧 問	副学長（国際・渋谷キャンパス担当）	坂井 文	22	顧 問	理工学部 応用化学科 主任教授	黒岩 崇
6	顧 問	副学長（研究担当）	柴田 随道	23	顧 問	理工学部 原子力安全工学科 主任教授	鈴木 徹
7	顧 問	大学院総合理工学研究科長	末政 直晃	24	顧 問	理工学部 自然科学科 主任教授	橋本 義武
8	顧 問	大学院環境情報学研究科長	リジナル ホム ・バハドウル	25	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科 主任教授	岩下 剛
9	顧 問	理工学部長	田中 康寛	26	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科 主任教授	白旗 弘実
10	顧 問	建築都市デザイン学部長	小見 康夫	27	顧 問	情報工学部 情報科学科 主任教授	向井 信彦
11	顧 問	情報工学部長	森 博彦	28	顧 問	情報工学部 知能情報工学科 主任教授	神野 健哉
12	顧 問	環境学部長	飯島 健太郎	29	顧 問	名誉教授	増田 陳紀
13	顧 問	メディア情報学部長	岩野 公司	30	顧 問	名誉教授	室田 昌子
14	顧 問	デザイン・データ科学部長	関 良明	31	顧 問	環境学部 環境創生学科 主任教授	横田 樹広
15	顧 問	都市生活学部長	宇都 正哲	32	顧 問	環境学部 環境経営システム学科 主任教授	岡田 公治
16	顧 問	人間科学部長	大塚 習平	33	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科准教授	五艘 隆志
17	顧 問	共通教育部長	井上 健				

報告事項 2 第21期 体制表

1. 全体

役職名	
最高顧問	第21期総会 報告事項1 2024年度顧問委嘱参照
顧問	第21期総会 報告事項1 2024年度顧問委嘱参照
会長	安部 毅 (新任)
副会長	山浦 武彦 (新任)
事務局長	山本 晃弘 (新任)
理事	第21期総会 第3号議案 理事参照
監事	中澤 眞 石川 善信 (新任)

2. 体制表

2024年度 体制表

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総 務	浅野 研一	稲沢 達也	荒川 興一	安藤 慎一郎	小原 丈二	三浦 聡
			八木 公平 (新任)	矢澤 雄一 (新任)		
広 報	服部 尚道 (新任)	山浦 武彦	石川 善信	近藤 晴雄	嶋矢 剛	中林 秀和
			中村 三昭 (新任)	野中 敏幸 (新任)	松本 辰男	山川 和弘
教 育	松浦 弦三郎	林 克彦	街道 浩	永田 考 (新任)	南 達也 (新任)	山本 晃弘
			油井 理			
企画渉外	北村 敏 (新任)	浦見 成一 (新任)	石川 善信 (新任)	尾崎 正明	小林政徳 (新任)	下條 信幸
			永井 佑樹	藤本 健		
試験支援	佐藤 貢一 (新任)	永尾 浩一 (新任)	近藤 晴雄	進藤 敏則	仲田 貞夫	永田 嘉和

報告事項3 会員の動向

物故会員

会員名	備考
片倉 久夫 (S22 土木)	

新入会員

会員名	備考
南 辰也 (S62 土木)	
鈴江 優 (H20 機械)	

退会

会員名	備考
平田 健一 (S47 土木)	
田部井 哲夫 (S53 土木)	
村尾 清史 (S48 電気)	
吉田 克己 (S48 電気)	
青木 敏久 (S49 土木)	
金井 啓一 (S44 土木)	